

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	ダイオキシン類総合調査費		担当部局庁	環境保健部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度～		担当課室	環境リスク評価室	戸田英作			
会計区分	一般会計		施策名	6-2 環境リスクの管理 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ダイオキシン類対策特別措置法第6条、第39条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	法律に基づく基準値として、ダイオキシン類の耐容1日摂取量を定めている。本調査は、各種モニタリング調査の結果を総合して、国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を推計するとともに、血液中のダイオキシン類濃度を実際に測定することにより、国民の健康を守るために必要な基準値が達成されているか、評価することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①ダイオキシン類の1日摂取量調査:食品や大気、水、土壌などの環境を経由して国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を、各種モニタリング調査のデータを収集・解析することにより推計。 ②ダイオキシン類をはじめとする化学物質の人への曝露量モニタリング調査:毎年80～250名のダイオキシン類を測定(平成14～23年度までに延べ46都道府県、2350人の血液調査、640人の食事調査を実施)。 ③平成23年度から、高ばく露集団に重点を置いた調査設計に変更							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	102	94	44	43	118	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	△72	72	0		
		計	102	22	116	43	118	
	執行額	78	10	116				
執行率(%)	76(%)	45(%)	100(%)					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	ダイオキシン類へのばく露の現状を把握することが事業の目的であるため、成果を定めることが困難である。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ダイオキシン類の人への曝露量把握を目的とした調査参加者数		活動実績(当初見込み)	人	178 (178)	0 (175)	255 (255)	- (未定)
単位当たりコスト	454,902 (円/人)		算出根拠	(ア)「平成22年度ダイオキシン類をはじめとする化学物質の人への蓄積量調査(繰越し事業)」 (イ)「平成23年度ダイオキシン類をはじめとする化学物質の人への曝露量モニタリング調査」 上記(ア)及び(イ)の執行額を調査参加者数で割った額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	公害調査等委託費	43	118	事業番号新24-010 緊急的の化学物質対策推進経費の内、化学物質の人へのばく露量モニタリング調査事業を本事業に統合した。 また、平成25年度より人体試料及び食事中の放射性物質についてもモニタリングを開始するため、事業の拡充が必要である。				
計	43	118						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ダイオキシンについては知見が少なく、国が集中的に全国の曝露状況を把握し、知見を収集することで、効率的な評価が可能となる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業とっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・競争入札により、調査実施機関を選定。 ・専門家の検討会に環境省職員が出席し、調査の設計や解析等が適正に履行されたことを確認。また、地域の調査においても現地に環境省職員を派遣し、被験者への説明や検体採取に立ち会い、調査が適正に履行されたことを確認。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本調査で得られた知見は、パンフレット等で広く公表すると共に、国際学会への発表など国内外へ情報発信している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①ダイオキシン類の1日摂取量調査：環境省職員により摂取量データを適切にとりまとめた。なお、平成22年度行政事業レビューにおいて、本作業は国の職員が実施すべきこととされた。</p> <p>②ダイオキシン類をはじめとする化学物質の人への曝露量モニタリング調査：世界的にも貴重なダイオキシン類生体モニタリングデータが多数集積しており、経年変化は比較的安定している。ダイオキシン類のほかパーフルオロ化合物など測定対象を拡げ、幅広い生体モニタリングデータの収集を図るとともに、曝露量の高い集団に注目した調査設計にするなど、効率的なモニタリング調査を実施した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	—		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	206	平成23年行政事業レビュー	207

環境省  
116百万

各種モニタリング調査の結果を総合して国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を推計するとともに、血液中のダイオキシン類濃度を実際に測定することにより、ダイオキシン類の耐用1日摂取量が達成されているか、評価することを目的としている。

【総合評価入札】

A. いであ(株)  
44百万

ダイオキシン類ばく露のハイリスク  
群特定・モニタリング調査

【外部委託】

B. (株)保健科学研  
究所  
1百万

血液・尿一般項目分析

【外部委託】

C. 東和環境科学(株)  
1百万

クロスチェック分析

【総合評価入札】

D. いであ(株)  
72百万

ダイオキシン類をはじめとする化学物  
質のリスク評価手法等検討調査

【外部委託】

E. 福岡県保健環境研  
究所  
1百万

クロスチェック分析

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.いであ(株)			E.福岡県保健環境研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究者及び研究補助員	10	外部委託	クロスチェック分析費	1
諸謝金	検討会出席者、試料提供者	1			
その他	旅費	2			
その他	試料分析費	26			
その他	貸借料、会議費、印刷製本費消耗品費	1			
消費税等	消費税、地方消費税	2			
外部委託	(株)保健科学研究所 血液・尿一般項目分析	1			
外部委託	東和環境科学(株) クロスチェック分析	1			
計		44	計		1
B.(株)保健科学研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	血液・尿一般項目分析費	1			
計		1	計		0
C.東和環境科学(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	クロスチェック分析費	1			
計		1	計		0
D.いであ(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	試料分析費	53			
人件費	技師及び技術員	8			
その他	旅費	4			
その他	謝金	3			
物品費	消耗品費	1			
消費税等	消費税、地方消費税	3			
計		72	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	ダイオキシン類ばく露のハイリスク群特定・モニタリング調査	44	1	99%
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)保健科学研究所	血液・尿一般項目分析	1	—	—
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東和环境科学(株)	クロスチェック分析	1	—	—
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	ダイオキシン類をはじめとする化学物質のリスク評価手法等検討調査	72	1	97%
2					
3					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県保健環境研究所	クロスチェック分析	1	—	—
2					
3					